

2015年、欧米の臨床研究結果が基となり、脳梗塞急性期の新たな治療が世界の基準となりました。「脳血栓回収療法」です。脳梗塞になっても8時間以内、場合によっては2時間以内であれば、脳の血管に詰まった血栓(血液の塊)を、頭を切らずにカテーテルで回収し、血液の流れを元に戻せるという画期的な治療です。

◇24

## 知りたい! 治療の最前線

### 脳血栓回収療法

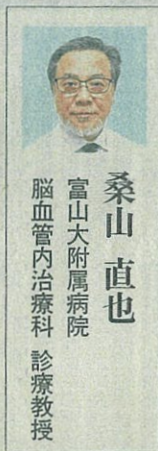
#### 一口メモ

急に片方の手足がまひして動かない、しゃべれないなどの神経症状が出たら脳卒中を疑い、すぐ救急車を呼んで専門病院に行ってください。脳梗塞の急性期治療である血栓回収療法により、半数以上の患者が脳梗塞から回復している。

# カテーテルで詰まり除去



心原性脳塞栓症によって詰まった血管(写真左の矢印)にステント(同中央)を通し、血栓を回収した(同右)



桑山 直也  
富山大附属病院  
脳血管内治療科 診療教授

## 脳梗塞時間が勝負

血栓回収療法が最も効果を発揮するのは心原性脳塞栓症です。これは心房細動という不整脈のために、心臓から血栓が飛んで脳の血管に詰まる

後遺症を残すことになり、症状に気が付いたらすぐ救急車を呼び、病院に来てください。CTスキャンを撮り、脳梗塞の影が出ていなければ、血栓回収療法で詰まった血管を開けることができます。時間が勝負です。

50%以上回復

治療では、足の血管から首

の頸動脈までカテーテルを入れます。そこから血栓を取り込むステント(やわらかい網状の筒)や、血栓を吸引するカテーテルを脳の血管に送り込みます。ステントやカテーテルで血栓をつかまえて回収します(写真)。

#### 専門医 県内11人

この治療により80~90%の患者さんで血栓を回収することができ、50%以上の患者さんが神経症状の回復が得られます。

血栓回収療法は主に脳血管内治療の専門医が行います。この専門医は毎年厳しい試験によって認定され、現在、当院の3人を含め県内に総勢11人の専門医が常駐しています。

「タイム イズ マネー」ということわざがあります。時間が何よりも大切という意味で使われますが、われわれはそれをもじって「タイム

脳血管内治療専門医を養成する必要があります。筆者は日本脳神経血管内治療学会専門医認定委員長としてこの課題に取り組み、学会としても日々努力を続けております。

救急車を呼び、血栓回収療法のできる病院に行くことが大

◇ 次回は24日に掲載します。

切です。当初は脳梗塞になって8時間までならこの治療が有効とされてきました。しかし最近の研究では、条件がそろえば24時間が経過しているも脳梗塞から患者さんを救うことができます。

富山県の救急車は日本で最も早く患者さんを病院に運んでくれると言われています。そして富山大学附属病院は24時間360日、24時間だけ短時間で治療ができる体制を整えています。最も時間がかかるのが、脳梗塞になってから救急車を呼ぶまでの時間です。患者さんと家族が迅速な対応を期待して救える人を増やすことができます。